

コレクション コレクション コレクション ヨ ン 展

会期

2010.4.6(火)~6.6(日)

午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

月曜日休館 ※ただし5月3日(月)は開館

Part 1

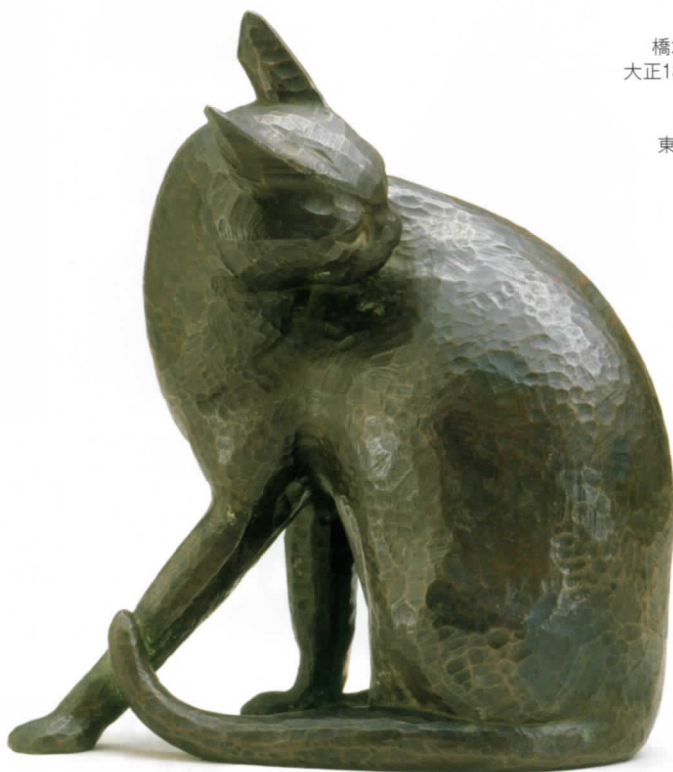
朝倉文夫
—朝倉彫塑館所蔵—



朝倉文夫《よく獲たり》
昭和21年(1946)
ブロンズ
高 52.5cm
朝倉彫塑館

Part 2

芸大コレクション
—動物を中心に—



橋本平八《猫》
大正13年(1924)
ブロンズ
高 33.2cm
東京藝術大学

入館料：一般 500円(400円)
高校・大学生 300円(200円)
※中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金
※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料

会場

東京藝術大学大学美術館
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

COLLECTION

このたび、台東区と東京藝術大学は“コレクション展”を開催いたします。

日本が西洋化を推し進める明治時代—西洋彫刻の基礎のなかった時代に、日本の近代彫塑は朝倉文夫(1883~1964)の才能と技術によって飛躍的な進歩を遂げました。朝倉作品の魅力は、自然から学んだ自由な写実表現ということができます。〈Part1. 朝倉文夫〉は、修業時代から最晩年までの朝倉の仕事の全貌を通観できる構成とし、その魅力をわかりやすく解説します。ここでは、保存修復工事のため長期休館中の朝倉彫塑館が所蔵する朝倉文夫作品の一部を展示しますが、これほどの数の朝倉作品をまとめて見られる機会は、これまでほとんどありませんでした。この“コレクション展”の会場において、ぜひ朝倉の自由な写実の世界をご堪能ください。

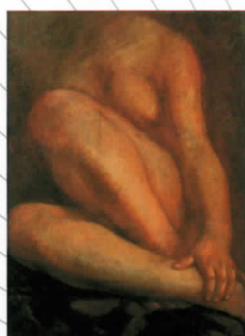
朝倉も学び、のちに教鞭をとった東京美術学校、現東京藝術大学の〈Part2. 芸大コレクション〉では、主に動物をモチーフにした名品を一堂に展示します。美術資料として蒐集した古代の動物作品から、隣接する上野動物園でスケッチをしていた学生の卒業制作まで、幅広く紹介します。

この展覧会は、それぞれのコレクションをまとめた2部構成になっていますが、両方をご覧いただくことにより、芸術家の出発点ともいえる—自然から学ぶ取り組み—をいろいろな角度から感じることができるでしょう。この“コレクション展”で自然から学ぶ芸術家の眼や姿勢をお楽しみください。

Part 1

朝倉文夫

—朝倉彫塑館所蔵—



《裸婦-2》
大正中頃
キャンバス
油彩
60.0×46.0cm



《松井須磨子像》
大正3年(1914)
石膏
高 136.5cm

《立ちたるスター》
大正8年(1919)
ブロンズ
高 107.0cm



《墓守》
明治43年(1910)
石膏
高 180.8cm
重要文化財



《九代目團十郎像》
昭和11年(1936)
ブロンズ
高 66.5cm

山本芳翠
《猛虎一声》
明治28年(1895)
キャンバス
油彩
136.0×103.1cm



高橋由一《鮭》
明治10年(1877)頃
紙・油彩
140.0×46.5cm
重要文化財



佐藤朝山
《牝牛》
大正15年(1926)
木
高 21.0cm

山名貫義《草花狗児》
(制作年不詳)
紙本淡彩 125.1×57.0cm
前期(4月6日~5月9日)
のみ展示予定



中野恵祥
《遊ぶ蛙》
昭和32年(1957)
真鍮・板金造・墨彩
高 12.3cm

Part 2

芸大コレクション

—動物を中心に—

会期中一部展示替あり (Part2のみ)
前期: 4月6日(火)~5月9日(日) 後期: 5月11日(火)~6月6日(日)

学芸員によるギャラリートーク (Part1のみ)

4月17日(土)/5月15日(土) とともに14時~
3階展示室 ※入館料が必要となります

お問い合わせ: ハローダイヤル 03(5777)8600
<http://www.geidai.ac.jp/museum/>

主催: 台東区/東京藝術大学/(財)台東区芸術文化財団
後援: 産経新聞社 助成: 藝大フレンズ賛助金助成事業

東京藝術大学大学美術館

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

- JR上野駅公園口下車徒歩10分
 - JR鶯谷駅下車徒歩10分
 - 東京メトロ銀座線上野駅下車徒歩15分
 - 東京メトロ日比谷線上野駅下車徒歩15分
 - 東京メトロ千代田線根津駅下車徒歩10分
 - 京成電鉄京成上野駅下車徒歩15分
 - 東西めぐりん④東京藝術大学下車
- ※駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。

